

令和4年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	「ねりま」で育って良かったプロジェクトチーム
事業名	「ねりま」で育って良かったプロジェクト ～未来につなぐ「ねりま」のひと・もの・こと～

1 令和5年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする

2 令和4年度を取組実績

[活動実績]

①知ってる？ねりま発見ツアーの運営（令和4年5月～令和5年2月）

・開催回数 7回（通年企画） ・参加者 20名

②発信プロジェクト

・Instagram 投稿件数 約 230 件
フォロワー数 657 人（前年度比 471 人増）

・Facebook 投稿件数 約 230 件
フォロワー数 102 人（前年度比 26 人増）

③行政との連携

・青年リーダーパネル展への参加
・ジュニアリーダー養成講習会の告知

3 令和4年度の評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた1年目、2年目でしたが、3年目の今年度は、ようやく「知ってる？ねりま発見ツアー」を開催できたこと、そして保護者の方々からも非常に満足度の高い声をいただけたことを高く評価します。

ツアーの構成も、単に区内のスポットを巡るだけでなく、最後の2回で丁寧に振り返り（新聞づくり）の時間を設けたことは、子どもたちの理解も深まり、さらなる成長につながったことでしょう。さらに、青年リーダーが企画・運営に携わり、実際に子どもたちとの交流を図ることで、ジュニアリーダーへの道を目指す参加者が生まれたことは、非常に良い流れを作れたと思います。参加者がジュニアリーダーになり、青年リーダーとして成長して、「ねりま」で育って良かったプロジェクトの担い手になる、といった循環を作れると、事業効果や継続性が高まるのではないかと考えます。そのためにも、今後も青年リーダーとうまく連携していくことがとても大切です。

また、子どもたちにもアンケートを取ったり、子どもたちの視点でSNSを発信してみる仕掛けをつくるなど、子どもたちの声も直接聞けるような機会があると、プロジェクトの意義もより深まるのではないのでしょうか。

来年度は、区の事業化に向けて具体化する1年となります。行政と連携することにより、青年リーダーをさらに巻き込み、募集人数の拡大や開催回数の増など、より多くの子どもたちが参加できる機会が増えることを期待します。来年度の活動も楽しみにしています。